

■第5回千歳市第3期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定市民会議  
議事概要

会議名	第5回千歳市第3期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定市民会議		
日時	令和3年8月19日(木) ～9月3日(金) ※緊急事態宣言の発令を受けて 書面開催に変更	場所	—
出席者	(意見シート提出者) 川名委員、鈴木(隆夫)委員、三ツ野委員、中山委員、鈴木(靖彦)委員、 三崎委員、須貝委員、小野委員、平池委員、鈴木(隆之)委員、瓜生委員、 藤澤委員、泉澤委員、伊藤委員、中塚委員、齊藤委員		

会議概要	<p>1. まちの発展と住みよさが続くための検討テーマに関する提言書(草案)を配布資料にて共有</p> <p>2. ①～⑩の検討テーマごとに、加筆修正したい内容について、委員が「質問シート」に回答、事務局に提出いただいた。</p> <p><b>①中心市街地の賑わいを高めるためには</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">現状・課題への意見</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の集客機能の低下は、市内外問わず、土地全体の社会機能に干渉する。</li> <li>・まち中に来る目的がなくなっている。</li> <li>・「周辺地域の自然」が何を指しているか具体的にすべき。</li> <li>・中心市街地ではマンションなど新しい建物が急増、新たに住む人たちの求めるものを意識した街づくりが必要。</li> <li>・個々の特徴的なお店が営業しているが、“線”として繋がらないため賑わいが出ない。アートをキーワードにしたイベント等が街中に感じられない。</li> <li>・まちなかに人が集まる「ハブ機能」について、タウンプラザとして再生を図ってきた経緯と今般の事態を踏まえた記述にすべき。</li> </ul> </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">提案(目指す姿や方向性)への意見</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハブ機能となる複合施設」について、将来性のある継続的活用を意識し中心市街地の形成を行うべき。</li> <li>・将来性のある継続的活用を意識した中心市街地の形成を行うべき。</li> <li>・商店街などに活気を戻す施策が必要。(景観・道路見直し、イベント開催(〇〇市、のぼり、祭り、はっぴ))</li> <li>・食を中心に大型スーパーと差別化した商店街の形成が必要。</li> <li>・街中からJR駅までの動線を意識した商店街づくりが必要。</li> </ul> </td> </tr> </table>	現状・課題への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の集客機能の低下は、市内外問わず、土地全体の社会機能に干渉する。</li> <li>・まち中に来る目的がなくなっている。</li> <li>・「周辺地域の自然」が何を指しているか具体的にすべき。</li> <li>・中心市街地ではマンションなど新しい建物が急増、新たに住む人たちの求めるものを意識した街づくりが必要。</li> <li>・個々の特徴的なお店が営業しているが、“線”として繋がらないため賑わいが出ない。アートをキーワードにしたイベント等が街中に感じられない。</li> <li>・まちなかに人が集まる「ハブ機能」について、タウンプラザとして再生を図ってきた経緯と今般の事態を踏まえた記述にすべき。</li> </ul>	提案(目指す姿や方向性)への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハブ機能となる複合施設」について、将来性のある継続的活用を意識し中心市街地の形成を行うべき。</li> <li>・将来性のある継続的活用を意識した中心市街地の形成を行うべき。</li> <li>・商店街などに活気を戻す施策が必要。(景観・道路見直し、イベント開催(〇〇市、のぼり、祭り、はっぴ))</li> <li>・食を中心に大型スーパーと差別化した商店街の形成が必要。</li> <li>・街中からJR駅までの動線を意識した商店街づくりが必要。</li> </ul>
現状・課題への意見					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の集客機能の低下は、市内外問わず、土地全体の社会機能に干渉する。</li> <li>・まち中に来る目的がなくなっている。</li> <li>・「周辺地域の自然」が何を指しているか具体的にすべき。</li> <li>・中心市街地ではマンションなど新しい建物が急増、新たに住む人たちの求めるものを意識した街づくりが必要。</li> <li>・個々の特徴的なお店が営業しているが、“線”として繋がらないため賑わいが出ない。アートをキーワードにしたイベント等が街中に感じられない。</li> <li>・まちなかに人が集まる「ハブ機能」について、タウンプラザとして再生を図ってきた経緯と今般の事態を踏まえた記述にすべき。</li> </ul>					
提案(目指す姿や方向性)への意見					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハブ機能となる複合施設」について、将来性のある継続的活用を意識し中心市街地の形成を行うべき。</li> <li>・将来性のある継続的活用を意識した中心市街地の形成を行うべき。</li> <li>・商店街などに活気を戻す施策が必要。(景観・道路見直し、イベント開催(〇〇市、のぼり、祭り、はっぴ))</li> <li>・食を中心に大型スーパーと差別化した商店街の形成が必要。</li> <li>・街中からJR駅までの動線を意識した商店街づくりが必要。</li> </ul>					

- ・音楽・アート、そして”文化等を意識した”感性に訴える”空間づくりを導入すべき。
- ・「周辺地域の自然」が何を指しているかこの表現では分かりづらい。もっと具体的に表現した方が良い。
- ・商店街活性化は中心市街地活性化の一部であり、一方策として記述すべき。
- ・中心市街地に賑わいをもたらすには若者やよそ者のアイデアを積極的活用するのが良い。改革の担い手となる若手経営者等が出店、活動しやすい資金的支援を行うことが考えられる。

**②市街地の資源（千歳川、道の駅等）をもっと活かすには**

現状・課題への意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源・魅力については、今あるものを上手く活用する方法が不足している。</li> <li>・PRの仕方に課題がある。</li> <li>・観光、周遊目的のアクセスの課題は、新千歳空港 IC から支笏湖方面に行く際、市街地を経由しなければならないことである。</li> </ul>

提案（目指す姿や方向性）への意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーモンパーク駐車場を拡大すべき。</li> <li>・訪れる目的を作る、体験型のイベントを開催すべき。</li> <li>・道道泉沢新千歳空港線の整備などにより、新千歳空港や支笏湖、キウス周堤墓群の連携を強化すべき。</li> <li>・道の駅サーモンパーク千歳の「更なる拠点化」のイメージがわからない。</li> <li>・市街地の駐車場や「アクセス道路の整備」どこを指すか示すべき</li> <li>・「魚や野菜の販売など」の「魚」はどんな種類を想定しているのか。</li> <li>・清流千歳川を最大限に生かすべき。(川の駅設置、水族館リニューアル、水族館とアイヌ文化がコラボした展示など)</li> <li>・南千歳駅の拠点づくりについては、アクセス・立地の条件の良さをアピールすべき。</li> <li>・市内をシームレスに移動するため、JR、バス、タクシー等と連携した MaaS のようなシステム作りを行うべき。</li> </ul>

**③空港や支笏湖、農村との連携をもっと進めるには**

現状・課題への意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド客に関して、中心街へのアクセス・需要を見出す。</li> <li>・支笏湖、農村など訪れる場所がどこにあるかわからない。</li> </ul>

提案（目指す姿や方向性）への意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド育成や地域連携に着目し、市からの発展的行動。</li> <li>・AP（アクセスポイント）に案内や販売所の設置、体験させるしか</li> </ul>

けが必要。

- ・農村地域でもインターネット光回線の整備が必要。
- ・理工系大学の特徴を生かしたユニークな研究が行われている千歳科学技術大学との連携策をもっと強化し、産学官連携で大学の研究活動の支援を行い、街の特徴づくりを行うべき。

#### ④住みたいと思える景観のあるまちにするには

##### 現状・課題への意見

- ・町内会活動に中高生を含む若い人材を取り込む活動が必要。
- ・景観（見た目）も重要。

##### 提案（目指す姿や方向性）への意見

- ・グリーンベルト・人が集まる憩いのベンチを設置するべき。
- ・市民団体やボランティア団体等と市、企業側の連携とコミュニティを大切にしたプランを構築するべき。
- ・駅前から見直すことが必要。
- ・市民が考える場を増やすべき。
- ・「親水空間」とはどこを指すのか示すべき。
- ・千歳市としての街のシンボルを決定し、JR 駅前や中心市街地にそれに繋がるモニュメントづくりを行うことで街のストーリー作りを行うべき。

#### ⑤進出企業（働く場所）をもっと増やすには

##### 現状・課題への意見

- ・住みやすい環境のPRが必要。
- ・千歳市が積極的に広報活動をしているが、働く人達へのメッセージが足りない。
- ・働く子育て世代、若い世代が、土地価格の上昇から住宅を購入できないことや、子育てへの支援などを理由に市外に居住するケースがみられ、市内への居住に結びついていない。

##### 提案（目指す姿や方向性）への意見

- ・市のサポート含めた計画を実行するべき。
- ・交通網の拡大、車社会から脱却すべき。
- ・「歴史・文化のPRを積極的に行う」ことが、どのようにして従業員の定住に繋がるのか説明が必要。
- ・短期的な移住制度を積極的に導入し、千歳市の良さを知ってもらうことで定住へ結びつける取り組みが必要。（移住公務員のような制度の利用が有効）。
- ・東京、内地方ばかりでなく、道央圏、千歳市に進出したいと考えている道内企業にも積極的にPRすべき。
- ・市所有地の売却において土地価格の上昇を抑える入札を実施する

事により若い世代などが購入しやすい価格を目指し、千歳市への定住人口増加を図るべき。

- ・JR 南千歳駅周辺の交通拠点化を図る。トラックドライバー等の休憩、宿泊施設の形成が必要。
- ・企業誘致について、優遇措置など含めた提案を盛り込むべき。

#### ⑥便利な買い物環境をつくるには

##### 現状・課題への意見

- ・市内分散や特色活用の度合いが小さい。
- ・買い物ルートの開発が必要。

##### 提案（目指す姿や方向性）への意見

- ・街を大きなスーパーにみたくて、案内しやすい環境を整備するべき。

#### ⑦市民ニーズに対応した公園緑地づくりをするためには

##### 現状・課題への意見

- ・様々な使用方法が可能な利便性とその提示を増やすべき。

##### 提案（目指す姿や方向性）への意見

- ・市民会議を開催し、市民の意見を聞くべき。
- ・IT 技術を活用した公園緑地づくりとは、どのようなことか示すべき。
- ・川沿いの遊歩道は、道路を横断せず、橋下を通れるような整備をするべき。

#### ⑧コミュニティや居住密度を維持するには

##### 現状・課題への意見

- ・コミュニティ活動へのアプローチが必要。
- ・マンションやアパートが増加し、コミュニティの繋がりが希薄になっており、どの町内も人材が不足している。

##### 提案（目指す姿や方向性）への意見

- ・図書館周りにカフェで活性化を図るべき。
- ・「テナント料の優遇といった支援策の検討」が「商業機能の強化」にどのようにつながるのか分かりづらい。
- ・草案では、表題の「居住密度を維持するには」についての提案箇所が分からない。
- ・ボランティア制度から資源回収等での収益を利用したインセンティブ制度に仕組みを変更する必要がある。

⑨災害に備えたまちづくりを進めるには

現状・課題への意見

- ・備えに対する様々な方法・パターンを用意することが必要。
- ・市町連等と連携し、避難所での感染症対策の対応が重要。
- ・新型コロナウイルス感染症も考えた上での対応は難しいものがある。

⑩子育てしやすい街づくりを進めるには

現状・課題への意見

- ・市側が市民の声に対する円滑な対策づくりが必要。
- ・市ぐるみで進める必要がある。

提案（目指す姿や方向性）への意見

- ・女性の活躍をサポートする環境づくりをするべき。
- ・何をもって子育てしやすいか、アンケート調査を行うべき。
- ・学校区間の生徒・児童数の不均衡などを繰り返さないように民間人の知恵も入れて、協働して検討すべき。
- ・地元を愛する市民を増やすためにも、初等教育時点から千歳の歴史、文化等について学ばせるカリキュラム作りを教育現場で行うべき。